

日塗工 整理No.	2016-22	労働災害状況調査表			
発生会社 事業所					
災害発生日時		2016年 3月 7日(月) 10時 00分 天候(くもり) 溫度(℃) 湿度(%)			
災害区分		不休災害	休業災害 (休業:△日)		
被 災 者	部門	製造部門	雇用形態 (正社員)、派遣、契約、その他()		
	年齢	21 歳	性別: (男) 女	勤続年数 3年 ヶ月 経験年数 年 3ヶ月	
	傷病名	病名 (炎症[薬傷])			
	傷病部位	右大腿部			
災 害 発 生 状 況	① 原材料(ポリアミドアミン)ドラムを転倒機で横に倒し 電子秤を使い天切缶へ計量しようとしていた。			状況概略(写真orイラスト)	
	② 当該原材料は計量する為に加温されていたが、内圧を抜かずに大栓を開けた為、中身が噴出し、右手と右足に飛散した。				
	③ 被災者は着ていた作業服上下とタイツを脱ぎ、トイレで手足を洗い流しウエスで拭き取り後、シャワー室へ行き、石鹼でもう一度洗い流した。				
	④ その後は痛みも腫れも無く、肌に異常が見られなかつた為、作業に戻り通常通り帰宅した。				
	⑤ 翌朝、右太腿上部が発赤し、熱を持っていた為、病院へ行き、飲み薬と塗り薬を処方され、一週間の経過観察と診断された。				
	災害の型 ^{※1)} :8 有害物との接触		作業の形態 (定常) 非定常、その他()		
	起因物: ドラム		特記事項 特になし		
	原 因 分 類	1.人的要因(man): 不安全行動(内圧を抜かずにドラムの大栓を開けた)			
		2.物に関する要因(machine): 特に無し			
		3.環境要因(media): 特に無し			
4.管理的要因(management): 作業標準無し					
対 策	① ドラム入りの原材料を石油缶に変更、石油缶のガス抜き方法を教育する。(平均使用量10kg以下のため)				
	② 班員に内圧のかかっているドラムの取り扱い方を再教育する。				
	③ 作業要領書と安全ワンポイントを作成し、今後の転入者や新人に教育を行なうこととする。				
	④ 取り扱いに注意しなければならない原材料についても、今後の転入者や新人に教育を行なうこととする。				
	対策分類 ^{※2)} : 1-1 安全情報、1-2 災害・事故の想定と対応、1-6 教育、2-4 危険認識				

※1) ①から選択

※2) ②から選択 (複数可)